

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局

(43) 国際公開日  
2017年3月2日(02.03.2017)



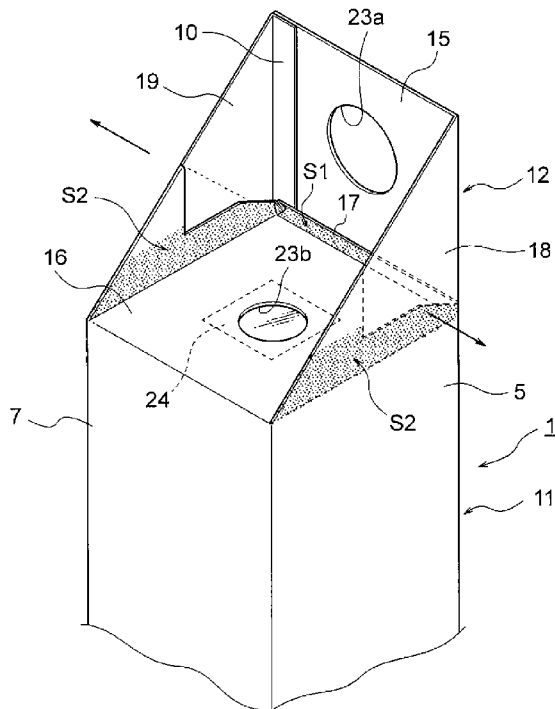
(10) 国際公開番号  
WO 2017/033509 A1

- (51) 国際特許分類:  
B65D 5/40 (2006.01) B65D 75/62 (2006.01)  
B65D 5/74 (2006.01) B65D 77/04 (2006.01)
- (74) 代理人: 大塚 明博(OTSUKA, Akihiro); 〒1010032  
東京都千代田区岩本町2丁目5番12号 サカ  
エビル6階 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2016/064703
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保  
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,  
BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,  
CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,  
FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN,  
IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS,  
LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY,  
MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,  
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM,  
ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,  
UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (22) 国際出願日: 2016年5月18日(18.05.2016)
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保  
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW,  
MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユー  
ラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨー  
ロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE,  
ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC,  
MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR),
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2015-166118 2015年8月25日(25.08.2015) JP
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 日本製紙株式会社(NIPPON PAPER IN-  
DUSTRIES CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1140002 東京都北  
区王子1丁目4番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 奥出 秀樹(OKUDE, Hideki); 〒1140002 東  
京都北区王子5丁目2番1号 日本製紙株式  
会社 総合研究所内 Tokyo (JP). 野田 貴治  
(NODA, Takaharu); 〒1140002 東京都北区王子5丁  
目2番1号 日本製紙株式会社 総合研究所  
内 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: PAPER INNER CONTAINER FOR HOLDING LIQUID REFILL CONTENTS

(54) 発明の名称: 詰め替え用液状内容物収容用紙製内容器



(57) Abstract: The present invention obtains a paper inner container for holding liquid refill contents in which a suction port can be easily formed in the center of the upper surface. The upper surface (12) of a paper inner container (1) with a body section (11) that is formed in a square cylinder with four body section panels (5, 6, 7, 8) is formed by: consecutively connecting a pair of upper surface-forming panels (15, 16), which face each other and are to be superposed vertically, and a pair of side surface panels (18, 19), which are located between the upper surface-forming panels (15, 16) facing each other and are to be folded when the upper surface-forming panels (15, 16) are superposed, on the upper edge of the body section panels (5, 6, 7, 8); forming holes (23a, 23b), which are to become the suction port (22), in the centers of the upper surface-forming panels (15, 16); sealing the hole (23b) formed in the lower of the upper surface-forming panels (16) with a rupture-able film (24); and sealing the perimeter of the upper surface-forming panel (16) to upper surface-forming panel (15) that is superposed thereabove and the side surface panels (18, 19).

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2017/033509 A1



OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:  
— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

本発明は、上面部の中央に吸い出し口を容易に形成することができる詰め替え用液状内容物収容用紙製内容器を得るものである。4つの胴部パネル(5, 6, 7, 8)で四角の筒状に形成した胴部(11)を有する紙製内容器(1)の上面部(12)を、胴部パネル(5, 6, 7, 8)の上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネル(15, 16)と、上面部形成パネル(15, 16)の間に位置して互いに対向し、上面部形成パネル(15, 16)の重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネル(18, 19)を連設し、上面部形成パネル(15, 16)に、その中央に位置して吸い出し口(22)となる穴(23a, 23b)を形成し、下側の上面部形成パネル(16)に形成した穴(23b)を破断可能なフィルム(24)で封止し、上面部形成パネル(16)の周囲と、上側に重ねられた上面部形成パネル(15)及び側面パネル(18, 19)とをシールして形成した。

## 明 細 書

**発明の名称**： 詰め替え用液状内容物収容用紙製内容器

### 技術分野

[0001] 本発明は、詰め替え用容器に収容されて使用される詰め替え用液状内容物収容用紙製内容器に関する。

### 背景技術

[0002] 液状内容物の詰め替えが可能な詰め替え容器にあって、詰め替え用液状内容物を収容した容器を内容器として用意し、詰め替え容器内に内容器を収容した状態で内容器内の液状内容物を取り出し、内容器内の液状内容物を消尽したら、詰め替え容器から内容器を取り出し、新しい内容器に交換することにより詰め替えを行えるようにしたものがある。

このような詰め替え容器で使用される内容器として、合成樹脂で形成された容器（例えば、特許文献1参照。）や、パウチと称される袋状の容器（例えば、特許文献2参照。）が知られている。

### 先行技術文献

#### 特許文献

[0003] 特許文献1：特開2003-252338号公報  
特許文献2：特表2013-500907号公報

### 発明の概要

#### 発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、特許文献1、2に記載されている詰め替え容器で使用される内容器は合成樹脂製であるため、取り替え後の使用済み内容器が産業廃棄物となり、廃棄が面倒であるといった問題がある。このような問題を解消するものとして、内容器を紙製にすることが考えられるが、この場合、次のような問題が生じることになる。

[0005] 詰め替え容器として、蓋体に容器本体内に収容された内容器内の液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプを備え、容器本体の開口部を蓋体で閉

じたとき、蓋体の下側に配置されているポンプの吸い込み管が、容器本体内に收容されている内容物の上面部に形成された吸い込み口に挿入されるようになっていて、蓋体に備えられたポンプは、作業のし易さから蓋体の中央に設けられている。このような詰め替え容器に対応するために、内容物も吸い込み口は上面部の中央に形成されることが求められる。液体を收容する紙容器として、ゲブルトップ型紙容器やフラットトップ型紙容器が知られているが、これらの紙容器では頂部の構造上、上面部の中央に吸い込み口を形成することはできず、紙容器を液体を收容する内容物とした場合、その上面部の中央に吸い込み口を形成させることは困難であるといった問題がある。

[0006] 本発明の目的は、上面部の中央に吸い出し口を容易に形成することができる詰め替え用液状内容物收容用紙製内容物を提供することにある。

本発明の他の目的は、液状内容物を最後まで確実に吸い出すことができる詰め替え用液状内容物收容用紙製内容物を提供することにある。

### 課題を解決するための手段

[0007] 上記の目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用液状内容物收容用紙製内容物であって、前記紙製内容物は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製内容物の上面部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネルと、前記一対の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一対の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネルが連設され、前記一対の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一対の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一対の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲

と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び前記側面パネルとがシールされて形成されていることを特徴とする。

[0008] 請求項2に記載の発明は、液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用紙製容器であって、前記紙製容器は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製容器の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一对の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一对の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されていることを特徴とする。

[0009] 請求項3に記載の発明は、液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用紙製容器であって、前記紙製容器は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製容器の上面部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し上下に重ねられる一对の上面部形成パネルと、前記一对の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一对の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一对の側面パネルが連設され、前記一对の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一对の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一对の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び

前記側面パネルとがシールされて形成され、前記紙製内容物の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されていることを特徴とする。

### 発明の効果

- [0010] 請求項 1 に記載の詰め替え用紙製内容物によれば、前記紙製内容物は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製内容物の上面部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネルと、前記一対の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一対の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネルが連設され、前記一対の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一対の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一対の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び前記側面パネルとがシールされて形成されているので、前記紙製内容物の上面部の中央に吸い出し口を容易に形成することができ、液状内容物は前記紙製内容物に封入された状態とすることができる。
- [0011] このように構成された前記紙製内容物を詰め替え容器に收容すると、紙製内容物の上面部に形成された吸い出し口は詰め替え容器における容器本体の開口部の中央に位置するので、前記ポンプを前記容器本体の開口部を閉じる

蓋体の中央に設けることにより、前記容器本体の開口部を閉じる前記蓋体の向きに拘わらず、前記容器本体の開口部を蓋体で閉じたとき、前記蓋体の下側に配置されている前記吸い込み管が、前記紙製内容器的上部に形成された前記吸い出し口から前記紙製内容器的内へ確実に挿入するので、液状内容物を封入した紙製内容器的の交換作業を容易に行うことができる。

[0012] 請求項 2 に記載の詰め替え用紙製内容器的によれば、前記紙製内容器的は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製内容器的の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されているので、前記紙製内容器的の底面部が下向き四角錐形となる。

[0013] これにより、前記紙製内容器的内の液状内容物は、少なくなると底面部における下向き四角錐形の頂部に集まることになり、詰め替え内容器的における内容器的本体の開口部を蓋体で閉じ、前記蓋体の下側に配置されている前記吸い込み管を前記紙製内容器的内へ挿入したとき、前記吸い込み管の先端が前記紙製内容器的の底面部における下向き四角錐形の頂部に位置するように設定することにより、前記紙製内容器的内の液状内容物を最後まで確実に吸い出すことができる。

[0014] 請求項 3 に記載の詰め替え用紙製内容器的によれば、前記紙製内容器的は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製内容器的の上部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し

上下に重ねられる一対の上面部形成パネルと、前記一対の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一対の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネルが連設され、前記一対の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一対の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一対の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び前記側面パネルとがシールされて形成されているので、前記紙製容器の上面部の中央に吸い出し口を容易に形成することができ、液状内容物は前記紙製容器に封入された状態とすることができる。

[0015] このように構成された前記紙製容器を詰め替え容器に収容すると、紙製容器の上面部に形成された吸い出し口は詰め替え容器における容器本体の開口部の中央に位置するので、前記ポンプを前記容器本体の開口部を閉じる蓋体の中央に設けることにより、前記容器本体の開口部を閉じる前記蓋体の向きに拘わらず、前記容器本体の開口部を蓋体で閉じたとき、前記蓋体の下側に配置されている前記吸い込み管が、前記紙製容器の上面部に形成された前記吸い出し口から前記紙製容器内へ確実に挿入するので、液状内容物を封入した紙製容器の交換作業を容易に行うことができる。

[0016] さらに、前記紙製容器の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されているので、前記紙製容器の底面部が下向き四角錐形となる。

[0017] これにより、前記紙製内容物内の液状内容物は、少なくなると底面部における下向き四角錐形の頂部に集まることになり、詰め替え容器における容器本体の開口部を蓋体で閉じ、前記蓋体の下側に配置されている前記吸い込み管を前記紙製内容物内へ挿入したとき、前記吸い込み管の先端が前記紙製内容物の底面部における下向き四角錐形の頂部に位置するように設定することにより、前記紙製内容物内の液状内容物を最後まで確実に吸い出すことができる。

### 図面の簡単な説明

[0018] [図1]本発明に係る詰め替え用紙製内容物の実施の形態の一例を示す斜視図である。

[図2]図1のA-A断面図である。

[図3]図1のB-B断面図である。

[図4]図1に示す詰め替え用紙製内容物の組み立て加工前のカートンブランクを示す展開図である。

[図5]図1に示す詰め替え用紙製内容物の上面部を形成する工程を示す説明図である。

[図6]図1に示す詰め替え用紙製内容物の上面部を形成する工程を示す説明図である。

[図7]図1に示す詰め替え用紙製内容物を収容する詰め替え容器の一例を示す分解斜視図である。

[図8]図7に示す詰め替え容器に図1に示す詰め替え用紙製内容物を収容した状態を示す縦断面説明図である。

### 発明を実施するための形態

[0019] 以下、本発明に係る詰め替え用紙製内容物の実施の形態の一例を図面を参照して詳細に説明する。

図1は本発明に係る詰め替え用紙製内容物の実施の形態の一例を示す斜視図、図2は図1のA-A断面図、図3は図1のB-B断面図、図4は図1に示す詰め替え用紙製内容物の組み立て加工前のカートンブランクを示す展開

図、図5は図1に示す詰め替え用紙製内容器の上面部を形成する工程を示す説明図、図6は図1に示す詰め替え用紙製内容器の上面部を形成する工程を示す説明図、図7は図1に示す詰め替え用紙製内容器を収容する詰め替え容器の一例を示す分解斜視図、図8は図7に示す詰め替え容器に図1に示す詰め替え用紙製内容器を収容した状態を示す縦断面説明図である。

[0020] 本例の詰め替え用の紙製内容器1は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、胴部縦折線2, 3, 4を介して4つの胴部パネル5, 6, 7, 8を備え、胴部パネル8にシール縦折線9を介して連設した縦方向シールパネル10によって胴部パネル5の縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有している。

[0021] 紙製内容器1の上面部12にあっては、本例では次のように構成されている。

胴部パネル5, 7の上端に、頂部横折線13, 14を介して互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネル15, 16が連設され、そして、上面部形成パネル15の下側に重なる上面部形成パネル16の上端には、上面部形成パネル15の内面にシールされるシールパネル17が連設されている。

[0022] また、胴部パネル6, 8の上端に、前記した一対の上面部形成パネル15, 16の間に位置して互いに対向し、一対の上面部形成パネル15, 16の重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネル18, 19が、頂部横折線20, 21を介して連設されている。

[0023] また、上面部形成パネル15, 16には、それぞれの中央に位置して吸い出し口22となる穴23a, 23bが形成されており、穴23a, 23bは上面部形成パネル15, 16を重ねたとき穴23aと穴23bの中心が一致するように開口している。そして、上面部形成パネル16の裏面には、破断可能なフィルム24が穴23bを塞ぐように設けられており、後述するポンプ42の吸い込み管45を突き刺すことにより破断できるようになっている。

[0024] なお、本例では、穴23bを塞ぐフィルム24は上面部形成パネル16の裏面に設けられているが、これに限らず、上面部形成パネル16の表面に設けられていてもよく、また、上面部形成パネル16の表裏両面に設けられていてもよい。

フィルム24としては、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、セロファン等の公知のフィルムが使用可能であるが、特に限定されない。フィルム24が熱可塑性樹脂であると、ヒートシールにより上面部形成パネル16に形成されている穴23bを容易に塞ぐことができる。

また、フィルム24には、破断性、遮光性、酸素バリア性等の向上を目的としてアルミ箔や紙などを積層してもよい。

[0025] 上面部形成パネル15、16と側面パネル18、19とによる紙製内容器1の上面部12の形成にあつては、胴部11を形成した後、先ず、上面部形成パネル16を内側へ折り、これに伴うように、側面パネル18、19を三角形形状に内面側へ折り畳み、胴部11の上側開口部を上面部形成パネル16で塞ぐ。そして、上面部形成パネル16の上端に連設されているシールパネル17を上面部形成パネル15の内面にS1の範囲でシールするとともに、上面部形成パネル16の両側縁を三角形形状に折り畳んだ側面パネル18、19をS2の範囲でシールする（図5参照。）。

[0026] 次に、側面パネル18、19を外側（図5で示す矢印方向。）に折り畳むようにして上面部形成パネル15を上面部形成パネル16の上に重ね（図6参照。）、折り畳まれて胴部11の外側へ突出した側面パネル18、19を下方（図6で示す矢印方向。）へ折り、胴部11へ接着等により固定して上面部12が形成される。

[0027] また、紙製内容器1の底面部25にあつては、本例では次のように構成されている。

胴部パネル5、7の下端に、底部横折線26、27を介して互いに対向する一对の切妻屋根形底面形成パネル28、29が連設されている。切妻屋根形底面形成パネル28、29の下部には帯状の外側シールパネル30、31

が連設されている。

また、胴部パネル 6, 8 の下端に、底部横折線 3 2, 3 3 を介して互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 が連設されている。妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 の下部には外側シールパネル 3 0, 3 1 よりも低い高さの帯状の内側シールパネル 3 6, 3 7 が連設されている。

[0028] そして、切妻屋根形底面形成パネル 2 8, 2 9 と妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 とによる底面部 2 5 の形成にあつては、切妻屋根形底面形成パネル 2 8, 2 9 間に妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 が折り込まれて、対向する外側シールパネル 3 0, 3 1 の対向面同士がシールされるとともに、外側シールパネル 3 0, 3 1 と内側シールパネル 3 6, 3 7 との対向面同士および内側シールパネル 3 6, 3 7 の対向面同士もまたシールされ、いわゆる逆ゲートルトップ形の下向き四角錐形に形成されている（図 2、図 3 参照。）。

[0029] このように構成した紙製内容器 1 によれば、上面部 1 2 は、胴部パネル 5, 6, 7, 8 の上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネル 1 5, 1 6 と、上面部形成パネル 1 5, 1 6 の間に位置して互いに対向し、上面部形成パネル 1 5, 1 6 の重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネル 1 8, 1 9 が連設され、上面部形成パネル 1 5, 1 6 には、その中央に位置して吸い出し口 2 2 となる穴 2 3 a, 2 3 b が形成され、下側に重ねられた上面部形成パネル 1 6 の周囲と上側に重ねられた上面部形成パネル 1 5 及び側面パネル 1 8, 1 9 とがシールされて形成されているので、紙製内容器 1 の上面部 1 2 の中央に吸い出し口 2 2 を容易に形成することができる。

[0030] また、底面部 2 5 は、胴部パネル 5, 6, 7, 8 の下端に、下部に外側シールパネル 3 0, 3 1 を有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネル 2 8, 2 9 と、外側シールパネル 3 0, 3 1 よりも低い高さの内側シールパネル 3 6, 3 7 を有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 が連設され、切妻屋根形底面形成パネル 2 8, 2 9 間に妻壁形底面形成パネル 3 4, 3 5 が折り込まれて、外側シールパネル 3 0, 3 1 の対向面同

士がシールされるとともに、外側シールパネル 30、31 と内側シールパネル 36、37 との対向面同士および内側シールパネル 36、37 の対向面同士もまたシールされて形成されているので、下向き四角錐形の底面部 25 を容易に形成することができる。

[0031] 図 7 は上記のように構成された紙製内容器 1 を収容する詰め替え容器の一例を示すものであって、本例の詰め替え容器 38 は、上部に開口部 39 を有するプラスチック製の容器本体 40 と、容器本体 40 の開口部 39 を閉じるプラスチック製の蓋体 41 と、蓋体 41 に設けられ、容器本体 40 内に収容された紙製内容器 1 内の液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプ 42 とからなる。

[0032] ポンプ 42 は、筒状シリンダ部 43 と、筒状シリンダ部 43 の上部に設けられ、筒状シリンダ部 43 内に摺動自在に嵌合するピストンの操作部を兼ねる吐出ノズル 44 と、筒状シリンダ部 43 の下部に設けられた吸い込み管 45 で構成されている。ポンプ 42 は蓋体 41 の中央に設けられ、筒状シリンダ部 43 は蓋体 41 に、その中央部を貫通して固定され、蓋体 41 の上側に吐出ノズル 44 が配置され、蓋体 41 の下側に吸い込み管 45 が配置されている。

そして、容器本体 40 の開口部 39 を蓋体 41 で閉じたとき、紙製内容器 1 の上面部 12 に形成された吸い出し口 22 から、蓋体 41 の下側に配置されている吸い込み管 45 が紙製内容器 1 内へ挿入されるようになっている。

[0033] このように構成された詰め替え容器 38 の容器本体 40 内へ本発明に係る紙製内容器 1 を収容すると、紙製内容器 1 の上面部 12 に形成された吸い出し口 22 は詰め替え容器 38 における容器本体 40 の開口部 39 の中央に位置するので、容器本体 40 の開口部 39 を閉じる蓋体 41 の向きに拘わらず、容器本体 40 の開口部 39 を蓋体 41 で閉じたとき、蓋体 41 の下側に配置されている吸い込み管 45 が、紙製内容器 1 の上面部 12 に形成された吸い出し口 22 から紙製内容器 1 内へ確実に挿入することになり、液状内容物を封入した紙製内容器 1 の交換作業を容易に行うことができる。

[0034] また、紙製容器 1 の底面部 2 5 が下向き四角錐形となっているので、紙製容器 1 内の液状内容物は、少なくなると底面部 2 5 における下向き四角錐形の頂部に集まることになり、詰め替え容器 3 8 における容器本体 4 0 の開口部 3 9 を蓋体 4 1 で閉じ、蓋体 4 1 の下側に配置されている吸い込み管 4 5 を紙製容器 1 内へ挿入したとき、吸い込み管 4 5 の先端が紙製容器 1 の底面部 2 5 における下向き四角錐形の頂部に位置するように設定することにより（図 8 参照。）、紙製容器 1 内の液状内容物を最後まで確実に吸い出すことができることになる。

### 符号の説明

- [0035] 1 紙製容器  
2, 3, 4 胴部縦折線  
5, 6, 7, 8 胴部パネル  
9 シール縦折線  
10 縦方向シールパネル  
11 胴部  
12 上面部  
13, 14 頂部横折線  
15, 16 上面部形成パネル  
17 シールパネル  
18, 19 側面パネル  
20, 21 頂部横折線  
22 吸い出し口  
23 a, 23 b 穴  
24 フィルム  
25 底面部  
26, 27 底部横折線  
28, 29 切妻屋根形底面形成パネル  
30, 31 外側シールパネル

- 3 2, 3 3 底部横折線
- 3 4, 3 5 妻壁形底面形成パネル
- 3 6, 3 7 内側シールパネル
- 3 8 詰め替え容器
- 3 9 開口部
- 4 0 容器本体
- 4 1 蓋体
- 4 2 ポンプ
- 4 3 筒状シリンダ部
- 4 4 吐出ノズル
- 4 5 吸い込み管

## 請求の範囲

[請求項1] 液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用液状内容物収容用紙製容器であって、

前記紙製容器は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製容器の上面部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネルと、前記一対の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一対の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネルが連設され、前記一対の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一対の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一対の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び前記側面パネルとがシールされて形成されていることを特徴とする詰め替え用液状内容物収容用紙製容器。

[請求項2] 液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用紙製容器であって、

前記紙製容器は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製容器の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成

パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されていることを特徴とする詰め替え用液状内容物収容用紙製容器。

[請求項3]

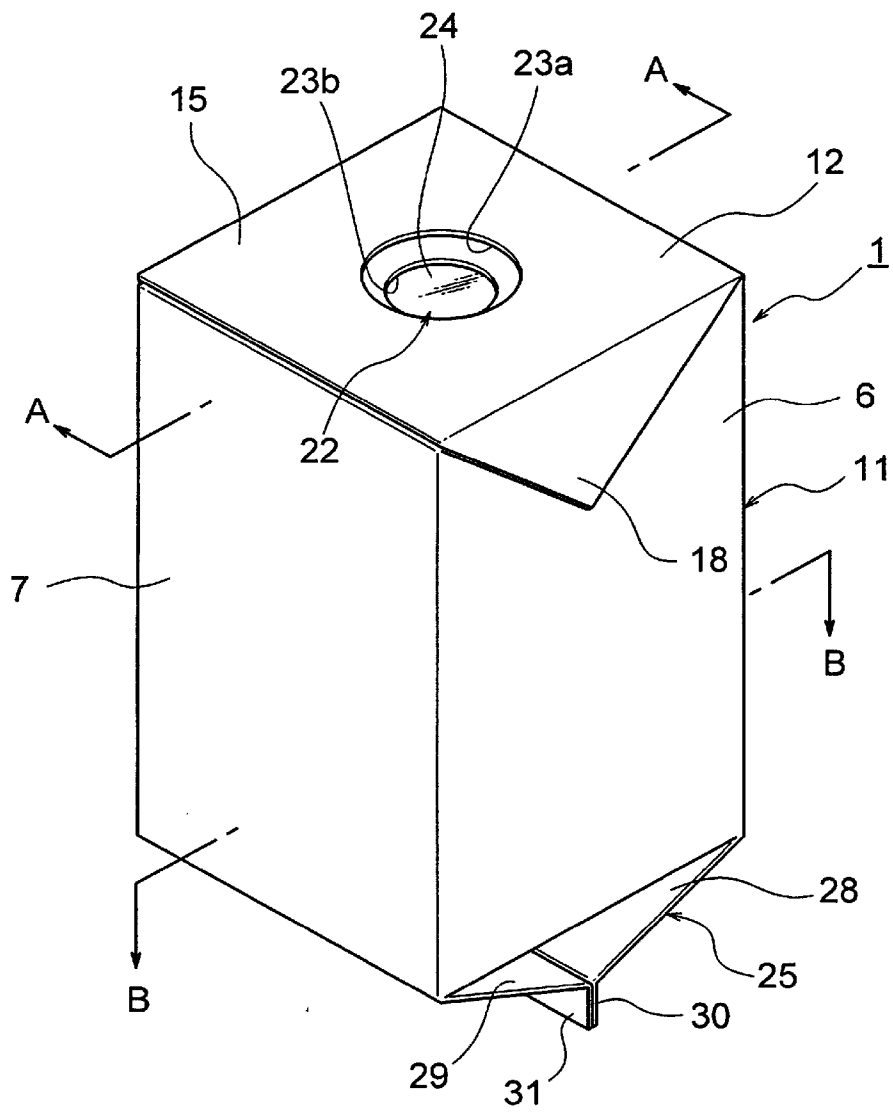
液状内容物を吸い込んで外部へ吐出するポンプの吸い込み管が差し込まれる吸い出し口が上面部に設けられた詰め替え用紙製容器であって、

前記紙製容器は、両面に熱可塑性樹脂を積層した紙素材からなり、4つの胴部パネルを備え、縦方向シールパネルによって縁部が接合されて四角の筒状に形成された胴部を有し、前記紙製容器の上面部は、前記胴部パネルの上端に、互いに対向し上下に重ねられる一対の上面部形成パネルと、前記一対の上面部形成パネルの間に位置して互いに対向し、前記一対の上面部形成パネルの重ね合わせに伴って折り畳まれる一対の側面パネルが連設され、前記一対の前記上面部形成パネルには、その中央に位置して前記吸い出し口となる穴が形成され、前記一対の上面部形成パネルのうちの少なくとも下側の上面部形成パネルに形成された穴は、破断可能なフィルムで封止されており、前記一対の上面部形成パネルのうちの下側に重ねられた上面部形成パネルの周囲と、前記上側に重ねられた上面部形成パネル及び前記側面パネルとがシールされて形成され、

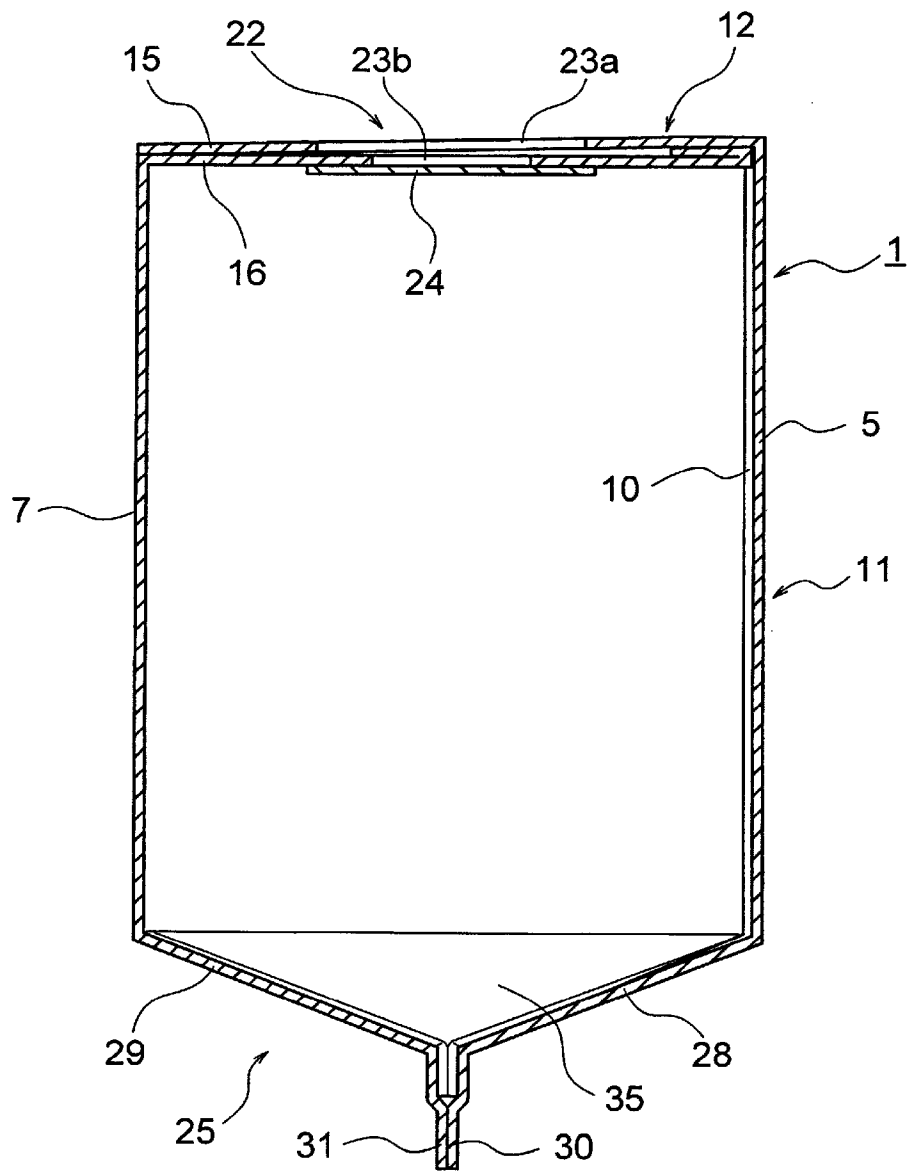
前記紙製容器の底面部は、前記胴部パネルの下端に、下部に帯状の外側シールパネルを有し互いに対向する一対の切妻屋根形底面形成パネルと、前記外側シールパネルよりも低い高さの帯状の内側シールパネルを有し互いに対向する一対の妻壁形底面形成パネルが連設され、前記切妻屋根形底面形成パネル間に前記妻壁形底面形成パネルが折り込まれて、対向する前記外側シールパネルの対向面同士がシールされるとともに、前記外側シールパネルと前記内側シールパネルとの対

向面同士および前記内側シールパネルの対向面同士もまたシールされて形成されていることを特徴とする詰め替え用液状内容物収容用紙製内容器。

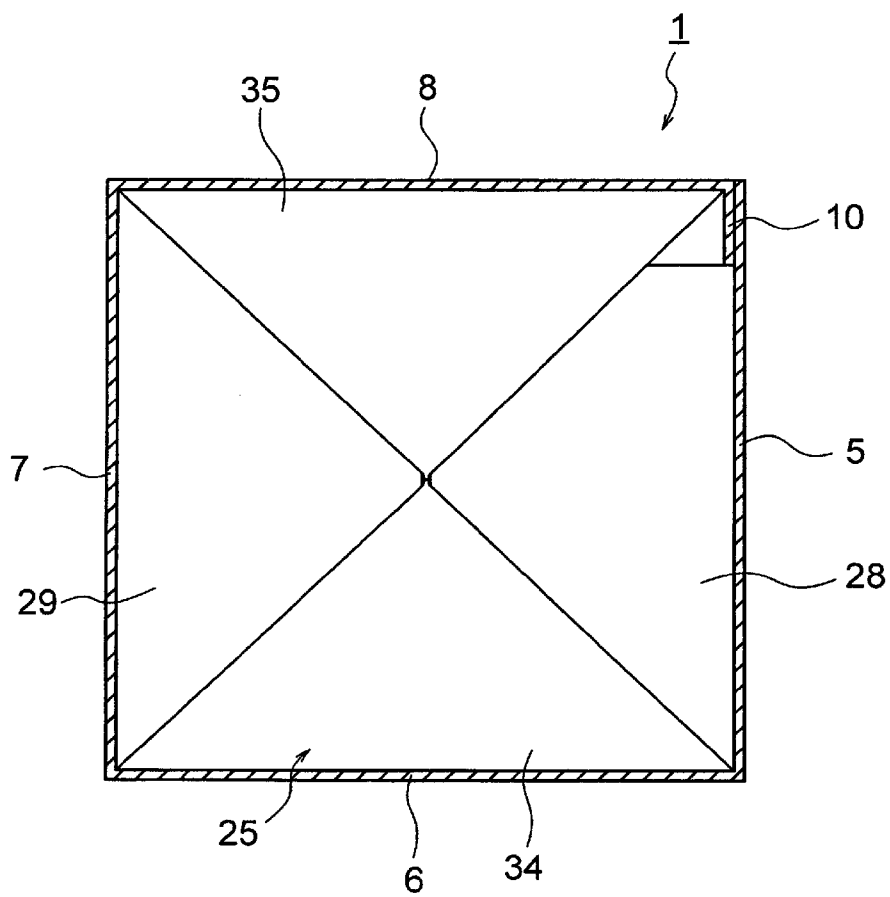
[図1]



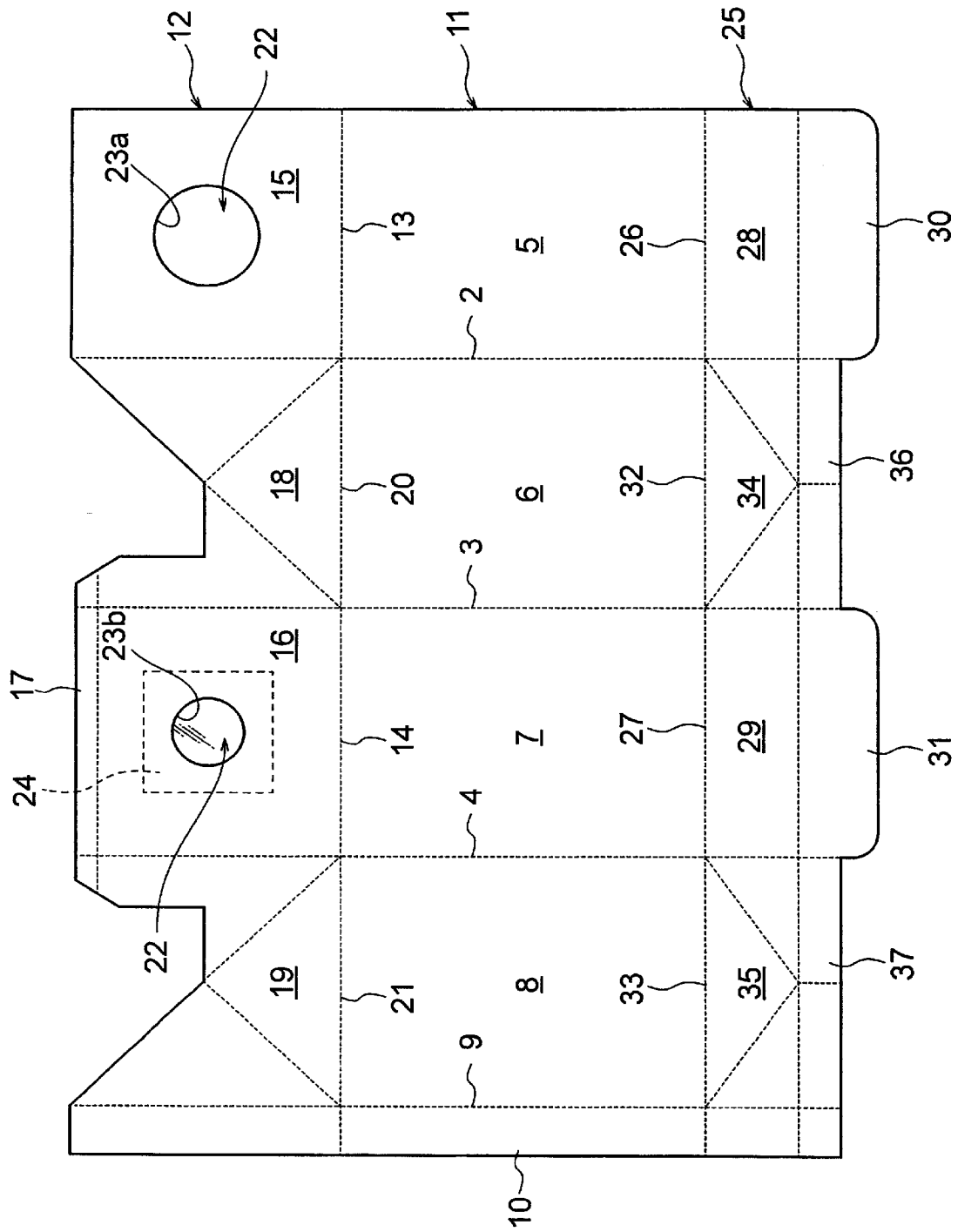
[図2]



[図3]

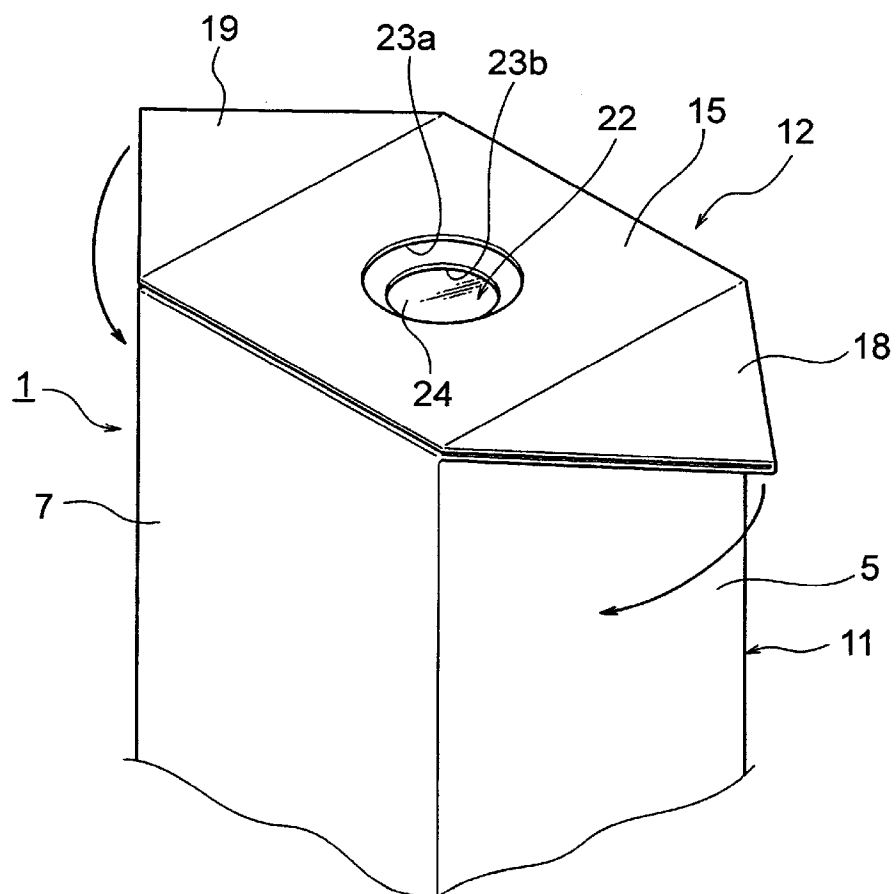


[図4]

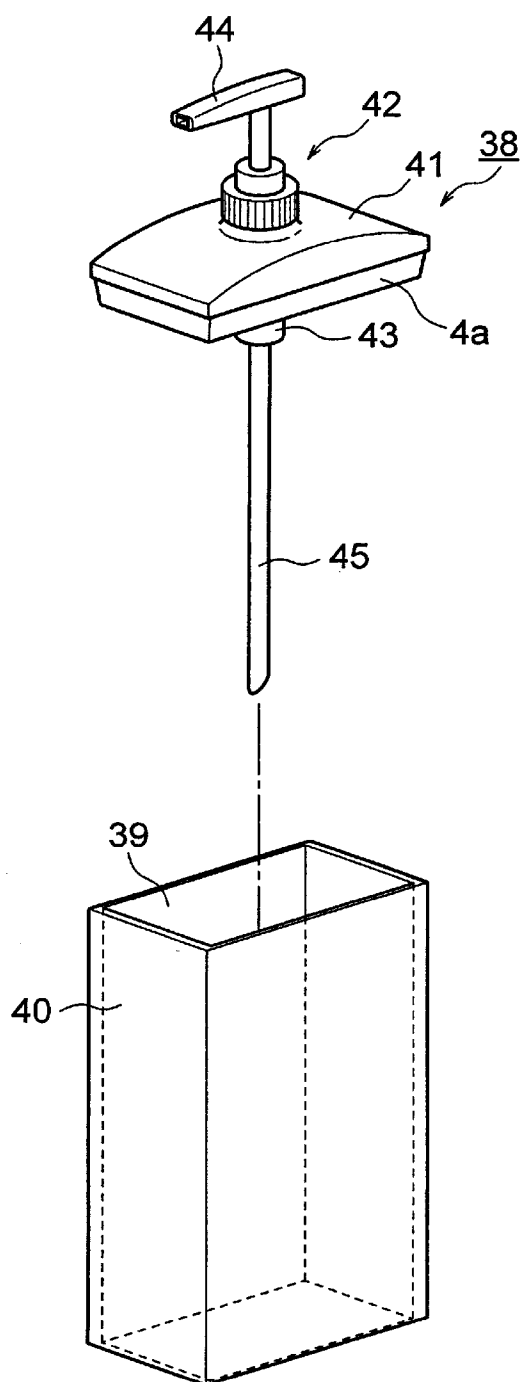




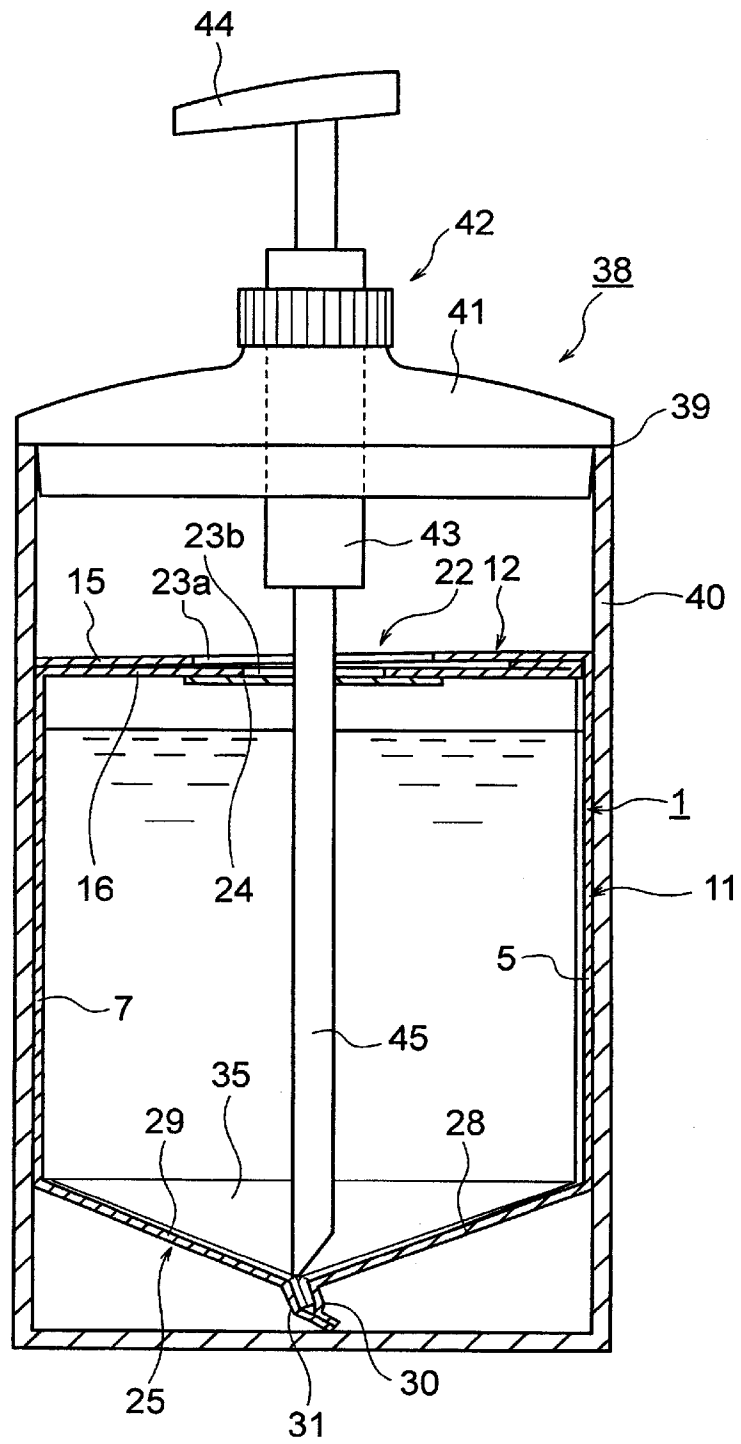
[図6]



[図7]



[図8]



**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.  
PCT/JP2016/064703

**A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**  
B65D5/40(2006.01)i, B65D5/74(2006.01)i, B65D75/62(2006.01)i, B65D77/04(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

**B. FIELDS SEARCHED**

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)  
B65D5/40, B65D5/74, B65D75/62, B65D77/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

**C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT**

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 28217/1992 (Laid-open No. 81051/1993) (Shiseido Co., Ltd.), 02 November 1993 (02.11.1993), paragraphs [0007] to [0015]; fig. 1 (Family: none)	1-3
Y	JP 52-76500 A (Focke & Pfuhl), 27 June 1977 (27.06.1977), page 4, upper left column, line 7 to lower right column, line 19; fig. 1, 4 & US 4102486 A column 2, line 29 to column 3, line 39; fig. 1, 4 & GB 1561092 A	1, 3

Further documents are listed in the continuation of Box C.       See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 27 July 2016 (27.07.16)	Date of mailing of the international search report 16 August 2016 (16.08.16)
--	---

Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Authorized officer  Telephone No.
--	---

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/064703

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 10-147335 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 02 June 1998 (02.06.1998), paragraphs [0008] to [0012]; fig. 1 to 7 (Family: none)	2-3
A	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 64496/1992 (Laid-open No. 27654/1994) (Toppan Printing Co., Ltd.), 12 April 1994 (12.04.1994), entire text; all drawings (Family: none)	1-3
A	JP 2009-520652 A (Stora Enso Oyj), 28 May 2009 (28.05.2009), & US 2008/0272121 A1 & WO 2007/071763 A1 & EP 1801022 A1 & CN 101360655 A	1-3

<p>A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))                  Int.Cl. B65D5/40(2006.01)i, B65D5/74(2006.01)i, B65D75/62(2006.01)i, B65D77/04(2006.01)i</p>												
<p>B. 調査を行った分野                  調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))                  Int.Cl. B65D5/40, B65D5/74, B65D75/62, B65D77/04</p>												
<p>最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの</p> <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922-1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971-2016年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996-2016年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994-2016年</td> </tr> </table>			日本国実用新案公報	1922-1996年	日本国公開実用新案公報	1971-2016年	日本国実用新案登録公報	1996-2016年	日本国登録実用新案公報	1994-2016年		
日本国実用新案公報	1922-1996年											
日本国公開実用新案公報	1971-2016年											
日本国実用新案登録公報	1996-2016年											
日本国登録実用新案公報	1994-2016年											
<p>国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)</p>												
<p>C. 関連すると認められる文献</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>引用文献の カテゴリー*</th> <th>引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示</th> <th>関連する 請求項の番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y</td> <td>日本国実用新案登録出願 4-28217 号(日本国実用新案登録出願公開 5-81051 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (株式会社資生堂) 1993. 11. 02, 段落 [0007] - [0015]、第 1 図 (ファミリーなし)</td> <td>1-3</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>JP 52-76500 A (フオク・ウント・プール) 1977. 06. 27, 第 4 ページ 左上欄第 7 行-右下欄第 19 行、第 1 図、第 4 図 &amp; US 4102486 A, 第 2 欄第 29 行-第 3 欄第 39 行、第 1 図、第 4 図 &amp; GB 1561092 A</td> <td>1, 3</td> </tr> </tbody> </table>			引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号	Y	日本国実用新案登録出願 4-28217 号(日本国実用新案登録出願公開 5-81051 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (株式会社資生堂) 1993. 11. 02, 段落 [0007] - [0015]、第 1 図 (ファミリーなし)	1-3	Y	JP 52-76500 A (フオク・ウント・プール) 1977. 06. 27, 第 4 ページ 左上欄第 7 行-右下欄第 19 行、第 1 図、第 4 図 & US 4102486 A, 第 2 欄第 29 行-第 3 欄第 39 行、第 1 図、第 4 図 & GB 1561092 A	1, 3	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号										
Y	日本国実用新案登録出願 4-28217 号(日本国実用新案登録出願公開 5-81051 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (株式会社資生堂) 1993. 11. 02, 段落 [0007] - [0015]、第 1 図 (ファミリーなし)	1-3										
Y	JP 52-76500 A (フオク・ウント・プール) 1977. 06. 27, 第 4 ページ 左上欄第 7 行-右下欄第 19 行、第 1 図、第 4 図 & US 4102486 A, 第 2 欄第 29 行-第 3 欄第 39 行、第 1 図、第 4 図 & GB 1561092 A	1, 3										
<p><input checked="" type="checkbox"/> C 欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。</p>												
<p>* 引用文献のカテゴリー</p> <table border="0"> <tr> <td>「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの</td> <td>「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの</td> </tr> <tr> <td>「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの</td> <td>「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)</td> <td>「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</td> <td>「&amp;」 同一パテントファミリー文献</td> </tr> <tr> <td>「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願</td> <td></td> </tr> </table>			「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの	「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの	「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)	「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの	「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献	「&」 同一パテントファミリー文献	「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	
「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの											
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの											
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)	「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの											
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献	「&」 同一パテントファミリー文献											
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願												
<p>国際調査を完了した日 27. 07. 2016</p>	<p>国際調査報告の発送日 16. 08. 2016</p>											
<p>国際調査機関の名称及びあて先                  日本国特許庁 (ISA/J P)                  郵便番号 100-8915                  東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号</p>	<p>特許庁審査官 (権限のある職員)                  高橋 裕一                  電話番号 03-3581-1101 内線 3361</p>	<p>3 N 3743</p>										

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 10-147335 A (大日本印刷株式会社) 1998.06.02, 段落 [0008] - [0012], 第1-7図 (ファミリーなし)	2-3
A	日本国実用新案登録出願 4-64496 号(日本国実用新案登録出願公開 6-27654 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録した CD-ROM (凸版印刷株式会社) 1994.04.12, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-3
A	JP 2009-520652 A (ストラ エンソ オサケ ユキチュア ユルキネン) 2009.05.28, & US 2008/0272121 A1 & WO 2007/071763 A1 & EP 1801022 A1 & CN 101360655 A	1-3